

第57期 事業報告書

自 平成30年4月 1日
至 平成31年3月31日



2019年5月15日完成



宮崎ブーゲンビリア空港

Miyazaki Bogenbiria Airport

M 宮崎空港ビル株式会社

事業報告

（自 平成30年4月1日）
（至 平成31年3月31日）

1. 営業の概況

当期におけるわが国経済は、雇用環境や企業収益が改善し、景気拡大は戦後最長になったと言われておりますが、大阪や北海道での地震、西日本豪雨、台風などの自然災害や原油価格の高騰など個人消費等が伸び悩み、景気回復を実感するまでには至りませんでした。

航空業界では、自然災害の影響を受けたものの、内外の堅調な航空需要に支えられ、国内線はLCCの新規路線の就航により乗降客数が大幅に伸びました。国際線についても国の訪日外国人誘致施策等で外国人旅客が増加し、引き続き乗降客数は前年を上回る実績で推移いたしました。

宮崎空港では、国内線は、LCCのジェットスターの純増（12月末まで）と冬ダイヤ以降の週末、祝日の増便効果、またピーチ閩空線が好調に推移したことに加え、宮崎においては大規模コンベンションが開催されるなど主要路線が順調に推移したことで、国内線全体の乗降客数は3,192,224人、前年比104.0%（+123,010人）と2年連続で300万人を上回ることができました。

また、国際線では、香港線は10月より運休となりましたが、韓国線は、アジアナ航空の増便とイースター航空の就航により冬ダイヤでは週9便（+3便）の運航となりました。

台湾線はチャイナエアラインの増便もあり、国際線全体の乗降客数は、過去最高の140,181人、前年比126.4%（+29,277人）となりました。

その結果、国内線・国際線の乗降客数合計は、3,332,405人、前年比104.8%（+152,287人）と7年連続で増加しました。

このような状況のもと当社におきましては、経営理念に沿った航空旅客の安全・安心と利便性向上、そして新たな地域活性化に向けた取り組みを実施し、県民の皆様が空港をより身近に感じていただける空港づくりとおもてなしに積極的に取り組んでまいりました。

おかげさまで宮崎空港は、国土交通省が実施している「空港満足度調査」において、全国で第2位になりましたが、これは、空港全体で取り組んでいただいたことが、高評価に繋がったと思っております。

これからも、この結果を維持できるように努めてまいります。

地域活性化の取り組みと致しましては、新たな組織改正として地域活性化担当を設け、各部署と連携して県内全ての市町村を訪問し、中山間地域商品の掘り起こしにも努め、行政や各関係団体と連携しながら、物産展の開催や地域の文化・歴史・芸術などのイベントの実施に取り組んでまいりました。

また、空港利用促進の一環として、これまで30分無料の駐車料金を空港内で買い物やお食事をされたお客様には、更に90分の費用を当社が負担して合計2時間までの駐車場無料化を開始したことで、地域の皆様が気軽に空港を利用することができ、利便性向上に繋がっております。

オアシス広場では、様々な企画イベントや歓迎セレモニーなど、年間約300日行ってまいりました。

中でも、宮崎市と連携した日本農業遺産登録を目指した初めてのPR企画「大根やぐら展」や「園芸の祭典」、14年ぶりとなる車の展示企画「レクサス展」は、多くのお客様にご来場いただき、大変好評なイベントとなりました。

また、平成11年から始めた「ブーゲンビリア500鉢プレゼント」は、今年で20回目となりました。

さらに、県内各地へのブーゲンビリアの普及を目的として立ち上げていただいた「目指せ2020！宮崎空港発 みやざきブーゲンビリア植栽プロジェクト」では、県や各エアラインの方々と一緒に取り組みを進めてまいりました。おかげさまで、ブーゲンビリアの輪が広がっております。

危機管理室では、国が取り組んでいる航空保安対策の徹底、南海トラフ地震・津波等の自然災害対策及び家畜防疫対策を重点活動項目として年間の活動計画を作成し、取り組みを行いました。

中でも、災害対応については、空港内で働いている空港関係者を対象に自然災害発生時に備えた防災教育や防火・防災対応訓練を実施したほか、4回目となる周辺住民との合同津波避難訓練を実施し、自治会や地域消防団との連携を深めより充実した訓練となりました。

尚、これまでの災害・事故等発生時の対応マニュアルである危機管理要領に加え、大規模な自然災害と感染症を想定した当社の事業継続計画（「BCP」）を新たに取入れ策定いたしました。

今後は、関係行政機関と一緒に、空港全体の具体的な取り組みを推進してまいります。

施設部門では、2年の期間をかけて取り組んできたバリアフリー化を含む2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けたターミナルビルの機能性・利便性向上のための増改築工事は3月末をもって、当初の予定通り終了いたしました。

今回の工事では、これまでオープンスポットであった5番スポットまでコンコースを延伸し、国際線専用のスポットとすることで、受入枠が増加しました。

また、安全性と利便性を向上させるため、国際線専用の出発保安検査場の新設やボディスキャナーを導入し、さらに国内線では小型機対応ロング PBB（旅客搭乗橋「ひなたらくちんブリッジ」）やステップレス PBB（段差のない旅客搭乗橋）の導入とエレベーターの増設を行いました。

搭乗待合室内にある航空会社ラウンジ「大淀」については、年々増加する利用客に対応するため「より南国らしく、より快適なラウンジ」をコンセプトに大幅に増席し、11月にリニューアルオープンいたしました。

また、3月末に供用開始したオアシス広場の増設エレベーターは、東京オリンピック・パラリンピックアクセシビリティガイドラインに沿った大きさで、車いすのお客様も今まで以上に快適に利用することができ、各階の外観には宮崎県のシンボルキャラクターである「みやざき犬」のデザインを取り入れるなど、南国宮崎を感じていただけるエレベーターとなりました。

尚、当社が三菱重工交通機器エンジニアリング㈱と共同開発した日本初の小型機対応ロング PBB は、多目的トイレや授乳室の取り組みとともに高く評価され、第12回国土交通省バリアフリー化推進功労者表彰にて大臣表彰を受賞しました。

更に、宮崎県から「障がいのある人もない人も共に暮らしやすい宮崎県づくり」において表彰を受けました。また、宮崎日日新聞社からも「産業賞」を受賞いたしました。

営業部門では、駐車場が2時間まで無料になったことで、これまで以上に地域の皆様にご利用いただけるよう、販売では中山間地域の商品とイベントの充実、飲食では、積極的な新メニュー開発に努めてまいりました。

この効果により、直営店の収入は順調に推移いたしました。特にテナントにおいては、昨年よりも2桁の伸びを示すなど大きな効果が見られました。

販売部門では、駐車場無料化とあわせて地域の皆様にご来店頂けるように7月20日に2階ショッピングフロアの「燦々市場」をリニューアルオープンし、県内の蔵元を紹介する酒コーナーや宮崎の銘菓コーナーを設けるなど、より楽しんでいただける店舗となりました。

引き続き中山間地域の商品の販売強化の一環として、市町村と協力し、生産者の皆様と共に新たな商品を取り揃え、さらなる充実を図ってまいります。

また、経済連との連携においては、「宮崎牛」や「マンゴー」「きんかん」などの特産品について多客期にあわせた大々的な試食販売を実施するなど積極的な販売促進に努めました。

さらに、畜産王国宮崎のPRと販売拡大を目的とした、直営店舗のお肉専門店「モー（牛）ブー（豚）クック（鶏）」をオープンし、宮崎牛・ブランドポーク・地鶏などの精肉及び各種加工品の販売を行ってまいりました。

その結果、販売部門全体の収入は前年比 105.9% となりました。

飲食部門では、機内食の搭載がなくなったことによる減収が懸念される中、お客様により満足していただけるように、地元食材を使った話題性のある新メニュー開発と各種フェアを積極的に行ってまいりました。

特に、日本航空の国際線機内食に搭載された「和牛カレー」のお肉を増量した「宮崎和牛ゴロゴロカレー」をはじめ「もつちゃんぼん」「海鮮ちゃんぼん」は人気メニューとなっております。

さらに、空港でのパーティー利用が増加したことや園児等の空港見学「わくわく探検ツアー」での食事も順調に伸び、飲食部門全体では、前年比 105.0% となりました。

尚、近年、サービス業でも人員確保が大きな課題となっております。引き続き、人員確保と教育に力を入れ、店舗運営の効率化や運営形態についての検討を行い、飲食店舗のテナント化・フードコート化を視野に入れたりリニューアルの検討を行ってまいります。

貸室部門では、新規航空会社のイースター航空の就航や航空貨物ビルの賃料の増加、テナントの売上増加に伴う賃料の増加等で、前年比 101.2% と増収となりました。

その結果、営業収入の合計は 4,645,235 千円、前年比 104.5% と増収となりました。

営業経費は、全般的な経費削減に努める中で、人員の有効的な配置や勤務体制の見直しによる労働環境の整備、空港全体での省エネ対策に取り組んでまいりました。またペーパーレス化を進めるためにネット利用による社内の情報共有化を図りました。

しかし、パート・アルバイトの時給をアップし人員確保に努めたことや、原油価格の変動による水道光熱費の単価アップに伴い、人件費や物件費が増加いたしました。

また、駐車場 2 時間までの無料化に伴い負担額が増加したことや、昨年度より 2 年間かけ計画的に実施した総額約 20 億円の施設改修工事費に伴う償却費と借入金の支払利息が増加したことで、経費全体は、4,425,076 千円、前年比 107.0% となりました。

その結果、営業利益は 220,159 千円、前年比 71.9%、これに営業外利益 8,771 千円を加えた経常利益は 228,931 千円、前年比 73.7% と増収減益となりました。

また、施設改修工事に伴う補助金収入や除却などの特別勘定を加えた税引前当期純利益は 206,068 千円、前年比 77.9%、当期純利益は 149,068 千円、前年比 89.6% となりました。

令和元年度の日本経済は、去年は個人消費が緩やかに持ち直しておりましたが、10月の消費税増税や人手不足、また、諸外国の貿易摩擦などの海外情勢の影響により、予断を許さない状況が予想されます。

当社を取り巻く環境は、乗降客については、国際線が香港航空の運休やチャイナエアラインの減便の影響で昨年を下回ると考えられますが、国内線は大規模コンベンションは減少するものの、ゴールデンウィーク10連休の効果や南九州3県で開催される全国高校総体、ラグビー日本代表・イングランド代表の合宿、ワールドサーフィン大会などの効果で、昨年並に推移すると思われます。一方で、企業進出や駅前開発、大型店舗の増床などにより人員確保が深刻化しており、サービス業としては人件費の高騰など厳しい環境となっております。

当社の対処すべき課題としては、そのような環境の中で、地域の皆様の空港利用促進とお客様の利便性向上、さらなる地域活性化の推進を目指してまいります。そして、駐車場2時間までの無料化やステンドグラス設置の効果を十分に活かし、増収対策に取り組むとともに、会社の健全経営に努めてまいります。また、人員確保に向けた雇用対策を推進し、生産性の向上にしっかり取り組み、レストランの効率化のためのテナント化に向けた検討も行っております。

尚、空港民営化につきましては、それぞれの空港の事情によって企業参入条件や求められる事業計画が変わってきている中で、引き続き情報収集に努め研究を続けてまいります。

最後になりましたが、現ターミナルビルが完成して30周年を迎えることに加え、空港の愛称が「宮崎ブーゲンビリア空港」になって5周年となりますので、これまで以上に宮崎の空の玄関口にふさわしい空港づくりに取り組んでまいりたいと考えております。

かねてより、創立55周年事業の一環として取り組んでおりました、日向神話のステンドグラスが完成いたしました。

この作品は、影絵作家の藤城清治先生に原画を描いていただき、ステンドグラス工芸家の白井定一先生に制作していただきました。

来年は宮崎で、「国文祭・芸文祭りやぎき2020」が「山の幸 海の幸 いざ神話の源流へ」と題して開催されます。

これから行政の皆様と一緒に大会を盛り上げ、少しでも「神話の源流みやぎき」のPRにお役に立てればありがたいと願っております。

私どもでは、これからも「おもてなしこそが最大の観光資源」をモットーに、「まだまだ、ニコニコ、一歩ずつ」を行動指針として、快適な空間の提供、地域の活性化に努め、県民の皆様信頼される会社を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

以上

乗降客の状況

①九州各空港の乗降客数（平成30年4月～平成31年3月）

空港名	国内線（対前年比）	国際線（対前年比）	合計（対前年比）
宮崎	3,192,224人 (104.0%)	140,181人 (126.4%)	3,332,405人 (104.8%)
福岡	17,891,733人 (101.4%)	6,962,760人 (109.7%)	24,854,493人 (103.6%)
那覇	17,634,154人 (100.6%)	3,926,462人 (107.8%)	21,560,616人 (101.9%)
鹿児島	5,661,899人 (105.8%)	403,858人 (120.5%)	6,065,757人 (106.7%)
熊本	3,202,589人 (102.1%)	205,478人 (132.1%)	3,408,067人 (103.5%)
長崎	3,200,851人 (103.1%)	68,568人 (128.0%)	3,269,419人 (103.5%)
大分	1,865,390人 (104.1%)	137,240人 (102.0%)	2,002,630人 (104.0%)
北九州	1,434,431人 (105.3%)	348,542人 (123.7%)	1,782,973人 (108.4%)
佐賀	589,101人 (99.9%)	229,895人 (123.2%)	818,996人 (105.5%)
合計	54,672,372人 (102.0%)	12,422,984人 (110.4%)	67,095,356人 (103.5%)

【宮崎空港状況】

②路線別実績表（平成30年4月～平成31年3月）

路線		本年	前年	増減	対前年比
羽田	乗降客数	1,552,181人	1,548,235人	3,946人	100.3%
	座席数	2,259,135席	2,266,227席	△7,092席	99.7%
成田	乗降客数	119,421人	30,274人	89,147人	394.5%
	座席数	148,680席	36,180席	112,500席	410.9%
東京計	乗降客数	1,671,602人	1,578,509人	93,093人	105.9%
	座席数	2,407,815席	2,302,407席	105,408席	104.6%
伊丹	乗降客数	602,471人	577,652人	24,819人	104.3%
	座席数	908,847席	841,265席	67,582席	108.0%
関空	乗降客数	122,756人	114,985人	7,771人	106.8%
	座席数	140,580席	131,400席	9,180席	107.0%
大阪計	乗降客数	725,227人	692,637人	32,590人	104.7%
	座席数	1,049,427席	972,665席	76,762席	107.9%
福岡	乗降客数	537,819人	543,943人	△6,124人	98.9%
	座席数	705,324席	727,458席	△22,134席	97.0%
名古屋	乗降客数	168,559人	165,855人	2,704人	101.6%
	座席数	236,106席	237,328席	△1,222席	99.5%
沖縄	乗降客数	88,153人	86,933人	1,220人	101.4%
	座席数	125,280席	124,758席	522席	100.4%
チャーター 及び臨時便	乗降客数	864人	1,337人	△473人	64.6%
	座席数	957席	1,724席	△767席	55.5%
合計	乗降客数	3,192,224人	3,069,214人	123,010人	104.0%
	座席数	4,524,909席	4,366,340席	158,569席	103.6%

③航空会社別状況（平成30年4月～平成31年3月）

	ANA	JAL	ソラシドエア	PEACH	ジェットスター	合計
乗降客数 (対前年比)	1,270(千人) (101.5%)	971(千人) (101.6%)	708(千人) (98.9%)	122(千人) (106.8%)	119(千人) (394.5%)	3,192(千人) (104.0%)
座席数 (対前年比)	1,824(千席) (99.3%)	1,399(千席) (102.7%)	1,011(千席) (101.2%)	140(千席) (107.0%)	148(千席) (410.9%)	4,524(千席) (103.6%)
利用率 (前年実績)	69.6% (68.1%)	69.4% (70.2%)	70.0% (71.7%)	87.3% (87.5%)	80.3% (83.7%)	70.5% (70.3%)

※上記数値には、国際線の乗降客数は含まれておりません。

※ANAについては、本年のORC乗降客数188,152人、座席提供数244,315席を含めた実績で計上いたしております。

④国際線の状況（平成30年4月～平成31年3月）

	便数	乗降客数	対前年比	日本人割合	外国人割合	利用率
国際線総数	1,142便	140,181人	126.4%	18.2%	81.8%	70.1%
韓国(アジアナ)	380便	46,344人	102.2%	18.6%	81.4%	67.9%
韓国(イースター)	350便	44,995人	361.1%	12.0%	88.0%	70.1%
韓国定期便計	730便	91,339人	158.1%	15.3%	84.7%	68.9%
台湾定期便	292便	32,867人	122.2%	29.0%	71.0%	70.8%
香港定期便	120便	15,975人	60.9%	12.4%	87.6%	76.5%

※便数及び乗降客数は片道ベース(往路1便・復路1便)として計算いたしております。

⑤欠航便内訳（平成30年4月～平成31年3月）

【単位：便】

		ANA	JAL	ソラシドエア	PEACH	ジェットスター	計
天候不良	本年	44	47	8	0	7	106
	前年	55	25	5	2	0	87
	増減	△11	22	3	△2	7	19
台風	本年	75	63	40	6	2	186
	前年	180	157	60	10	0	407
	増減	△105	△94	△20	△4	2	△221
小計	本年	119	110	48	6	9	292
	前年	235	182	65	12	0	494
	増減	△116	△72	△17	△6	9	△202
機材故障 その他	本年	252	48	45	7	18	370
	前年	76	48	31	2	2	159
	増減	176	0	14	5	16	211
合計	本年	371	158	93	13	27	662
	前年	311	230	96	14	2	653
	増減	60	△72	△3	△1	25	9

2. 会社の概況（平成31年3月31日現在）

(1) 会社の目的

- ① 貸室および施設、設備貸与業
- ② 土産品、酒類、煙草、郵便切手、収入印紙、薬品および雑貨品の販売
および斡旋業
- ③ 食堂、喫茶店および娯楽施設の経営
- ④ 損害保険代理業
- ⑤ 旅行業法に基づく斡旋業
- ⑥ 広告宣伝業
- ⑦ 催物の企画並びに販売
- ⑧ 駐車場運営および造園、植樹に関する事業
- ⑨ 航空思想の普及並びに観光に関する事業
- ⑩ 前各号に附帯する一切の事業

(2) 主要な事業内容

- ① 貸室業 航空会社並びに売店・飲食業のテナント
- ② 売店 土産品および酒、煙草販売
- ③ レストラン

(3) 株式の状況

- | | |
|------------|---------|
| ① 発行可能株式総数 | 30,000株 |
| ② 発行済株式総数 | 20,000株 |
| ③ 株主数 | 21名 |

④ 大株主（上位 11 名）

株 主 名	持 株 数	議 決 権 比 率
宮 崎 交 通 株 式 会 社	7,865 株	39.3 %
ANA ホールディングス株式会社	4,000	20.0
株 式 会 社 宮 崎 銀 行	1,000	5.0
宮 崎 県	1,000	5.0
日 本 航 空 株 式 会 社	700	3.5
宮 崎 市	600	3.0
恒 吉 宏 三 郎	560	2.8
九 州 電 力 株 式 会 社	500	2.5
株 式 会 社 宮 崎 放 送	500	2.5
旭 化 成 株 式 会 社	500	2.5
フエニックスリゾート株式会社	500	2.5

⑤ 株式の移動

株式の移動 1 件 400 株

(4) 重要な子会社の状況

会 社 名	資 本 金	持株比率	主 な 事 業 内 容
宮崎空港商事株式会社	10,000 千円	100%	1. 土産品の斡旋及び製造販売 2. 観光用の農水産物の加工及び販売
株式会社 味のガンジス	10,000 千円	100%	1. レストラン、喫茶店 2. 食料品卸し

(5) 取締役及び監査役

取締役及び監査役の氏名等

地 位	氏 名	担当または主な職業
代表取締役会長	長 濱 保 廣	株主総会・取締役会議長
代表取締役社長	高 屋 靖 夫	総括 兼 常務会議長
専 務 取 締 役	前 田 功	財務・経理担当
常 務 取 締 役	永 山 博 康	総務部担当 兼 危機管理室担当 兼 施設整備プロジェクト担当
常 務 取 締 役	豊 島 進	業務部担当 兼 CS 推進担当
取 締 役	大 坪 篤 史	施設部担当 兼 地域活性化担当
取締役経理部長	大久保政彦	経理部担当
取締役営業部長	藤 本 誠 一	営業部担当
取 締 役	郡 司 行 敏	宮崎県副知事
取 締 役	戸 敷 正	宮崎市長
取 締 役	菊 池 克 頼	宮崎交通株式会社 代表取締役社長
取 締 役	瀧 上 明 彦	全日本空輸株式会社 宮崎支店 支店長
取 締 役	伊 藤 洋 一	日本航空株式会社 宮崎支店 支店長
監 査 役	平 野 亘 也	株式会社宮崎銀行 代表取締役頭取
監 査 役	林 田 洋 二	株式会社宮崎太陽銀行 代表取締役頭取

(6) 使用人の状況

区 分	使用人数	前事業年度末比増減	平均年齢	平均勤続年数
男 性	23(72)名	+3(△22)名	37.9歳	14.3年
女 性	55(202)名	△2(+31)名	31.0歳	8.2年
合 計	78(274)名	+1(+ 9)名	33.0歳	10.0年

(注) 嘱託社員及びパートは()内に記載しております。

(7) 営業成績及び財産の状況の推移

区 分	第 54 期	第 55 期	第 56 期	第 57 期
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度 (当 期)
売 上 高	千円 4,295,383	千円 4,294,826	千円 4,441,284	千円 4,645,235
当 期 純 利 益	千円 159,411	千円 206,672	千円 166,192	千円 149,068
1 株 当 た り の 当 期 純 利 益	円 7,970.60	円 10,333.64	円 8,309.62	円 7,453.40
資 産 合 計	千円 7,899,916	千円 7,745,403	千円 9,404,427	千円 9,390,410
純 資 産 合 計	千円 3,996,262	千円 4,283,722	千円 4,797,412	千円 4,884,927

(8) 主要な借入先、借入額

借 入 先	借入金残高
株 式 会 社 宮 崎 銀 行	1,835,000 千円
株 式 会 社 宮 崎 太 陽 銀 行	1,305,000 千円
株 式 会 社 日 本 政 策 投 資 銀 行	200,000 千円

貸借対照表

(平成31年3月31日現在)

資 産 の 部			負 債 の 部		
科 目	金 額		科 目	金 額	
	千円	千円		千円	千円
流動資産		555,063	流動負債		1,693,287
現金・預金	218,018		短期借入金	670,000	
売掛金	163,436		1年以内返済予定の長期借入金	216,840	
売店商品	64,996		買掛金	480,259	
食堂材料	11,059		未払費用	125,792	
貯蔵品	5,207		未払法人税等	8,746	
関係会社勘定	3,594		未払消費税等	73,273	
雑流動資産	35,682		預り金	17,680	
未収収益	56,910		前受収益	55,157	
貸倒引当金	△ 3,843		賞与引当金	24,014	
			役員賞与引当金	13,140	
			リース債務	8,383	
固定資産		8,835,347	固定負債		2,812,195
有形固定資産	(6,113,512)		長期借入金	2,453,160	
建物	4,183,898		退職給付引当金	93,981	
建物付属構築物	746,214		役員退職慰労引当金	204,718	
機械装置	502,950		預り保証金	22,300	
什器備品	240,554		リース債務	38,034	
車両運搬具	252		負債の部合計		4,505,483
庭園	11,437		純 資 産 の 部		
土地	303,333		株 主 資 本		3,187,766
リース資産	38,626		資本金		200,000
建設仮勘定	29,500		資本金	200,000	
無形固定資産	(8,564)		利益剰余金		2,987,766
ソフトウェア	2,839		利益準備金	50,000	
無形リース資産	5,202		その他利益剰余金	(2,937,766)	
その他の無形固定資産	522		施設改修積立金	1,200,000	
投資その他の資産	(2,713,270)		任意積立金	1,450,000	
投資有価証券	2,471,980		繰越利益剰余金	287,766	
子会社株式	10,000		評価・換算差額等		1,697,161
出資金	231,290		その他有価証券評価差額金	1,697,161	
資産の部合計		9,390,410	純資産の部合計		4,884,927
			負債・純資産の部合計		9,390,410

(注) 1.子会社に対する短期金銭債権 4,442千円 3.有形固定資産の減価償却累計額 9,850,201千円
 2.子会社に対する短期金銭債務 71,965千円 4.担保に供している資産 121,770千円

損益計算書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

科 目	金 額		
	収 入	支 出	損 益
	千円	千円	千円
貸 室 収 入	1,153,935		
売 上 収 入	3,388,057		
使用料及び手数料収入	103,241		
営 業 収 入 計	4,645,235		
売 上 原 価		2,154,121	
人 件 費		948,252	
諸 経 費		899,799	
償 却 費		422,902	
営 業 経 費 計		4,425,076	
営 業 利 益			220,159
受 取 利 息	2		
その他の営業外収入	66,991		
営 業 外 収 入 計	66,993		
支 払 利 息		56,712	
その他の営業外支出		1,509	
営 業 外 経 費 計		58,221	
営 業 外 利 益			8,771
経 常 利 益			228,931
特 別 利 益			
国庫補助金受贈益	62,875		
計	62,875		
特 別 損 失			
固定資産圧縮損		62,875	
固定資産除却損		22,863	
計		85,738	
税引前当期純利益			206,068
法人税・住民税及び事業税			57,000
当 期 純 利 益			149,068

- (注) 1. 子会社に対する売上高 6,835 千円
 2. 子会社からの仕入高 859,600 千円
 3. 1株当たりの当期純利益 7,453.40 円

株主資本等変動計算書

当会計期間(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

(単位:千円)

	株主資本							評価・換算 差額等	純資産の部合計
	資 本 金	利益剰余金					株主資本合計		
		利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計			
			施設改修積立金	任意積立金	繰越利益剰余金				
その他	評価差額金								
当期首残高	200,000	50,000	1,050,000	1,450,000	308,698	2,858,698	3,058,698	1,738,714	4,797,412
当期 変動 額	施設改修積立金		150,000		△150,000	0	0		0
	株主配当金				△20,000	△20,000	△20,000		△20,000
	当期純利益				149,068	149,068	149,068		149,068
	株主資本以外の項目							△41,553	△41,553
当期変動額合計	0	0	150,000	0	△20,931	129,068	129,068	△41,553	87,514
当期末残高	200,000	50,000	1,200,000	1,450,000	287,766	2,987,766	3,187,766	1,697,161	4,884,927

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項

(1) 有価証券の評価基準および評価方法

① 子会社株式……………移動平均法による原価法。

② その他の有価証券

市場価格のあるもの……………期末日の市場価格等に基づく時価法。

(評価差額は全部純資産直入法により処理し、
売却原価は移動平均法により算定)

市場価格のないもの……………移動平均法による原価法。

(2) 棚卸資産の評価基準および評価方法

製品、原材料、仕掛品……………先入先出法による原価法。

(3) 固定資産の減価償却の方法

① 建物

平成10年3月31日以前に取得したもの……………法人税法に規定する旧定率法。

平成10年4月1日以後平成19年3月31日以前に取得したもの

……………法人税法に規定する旧定額法。

平成19年4月1日以後に取得したもの……………法人税法に規定する定額法。

② 建物付属設備及び構築物

平成19年3月31日以前に取得したもの……………法人税法に規定する旧定率法。

平成19年4月1日以後平成24年3月31日以前に取得したもの

……………法人税法に規定する定率法(250%定率法)。

平成24年4月1日以後平成28年3月31日以前に取得したもの

……………法人税法に規定する定率法(200%定率法)。

平成28年4月1日以降に取得したもの……………法人税法に規定する定額法。

③ 建物、建物付属設備及び構築物以外の有形固定資産(リース資産除く)

平成19年3月31日以前に取得したもの……………法人税法に規定する旧定率法。

平成19年4月1日以後平成24年3月31日以前に取得したもの

……………法人税法に規定する定率法(250%定率法)。

平成24年4月1日以後に取得したもの

……………法人税法に規定する定率法(200%定率法)。

④ 無形固定資産(リース資産除く)……………法人税法に規定する定額法。

⑤ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係わるリース資産

……………リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法。

(4) 引当金の計上基準

- ① 貸倒引当金……………売上債権、貸付金等の債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上。
- ② 賞与引当金……………従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額基準による当事業年度末の負担額を計上。
- ③ 役員賞与引当金……………役員の賞与の支給に備えるため、支給見込額を計上。
- ④ 退職給付引当金……………従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき計上。
- ⑤ 役員退職慰労引当金……………役員の退職慰労金の支給に備えるため、役員退職慰労金規程に基づく期末要支給額を計上。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 発行済株式の総数に関する事項

株式の種類	前事業年度末の株式数	当事業年度増加株式数	当事業年度減少株式数	当事業年度末の株式数
普通株式	20,000株	－株	－株	20,000株

(2) 剰余金の配当に関する事項

基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生が翌期になるもの令和元年6月20日開催の第57回定時株主総会において次のとおり付議いたします。

- ・ 配当金の総額 20,000,000円
- ・ 1株当たりの配当金額 1,000円
- ・ 基準日 平成31年3月31日
- ・ 効力発生日 令和元年6月21日

3. その他の注記

端数処理の方法……………記載の金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

監 査 報 告 書

私たち監査役は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの第57期事業年度の取締役の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監査役は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会及びその他の重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示していると認めます。

令和元年5月17日

宮崎空港ビル株式会社

監査役 平野 亘 也 ㊟

監査役 林 田 洋 二 ㊟

以 上

宮崎空港ビル株式会社

代表取締役会長	株主総会・取締役会議長	長 濱 保 廣
代表取締役社長	統括・常務会議長	高 屋 靖 夫
専 務 取 締 役	財務・経理担当	前 田 功
専 務 取 締 役	総務部担当 兼 危機管理担当	永 山 博 康 (昇任)
常 務 取 締 役	業務部担当 兼 CS 担当	豊 島 進
常 務 取 締 役	施設部担当 兼 地域活性化担当	大 坪 篤 史 (昇任)
取 締 役 経 理 部 長		大久保 政 彦
取 締 役 営 業 部 長		藤 本 誠 一
取 締 役		郡 司 行 敏
取 締 役		戸 敷 正
取 締 役		菊 池 克 頼
取 締 役		渕 上 明 彦
取 締 役		伊 東 芳 隆 (新任)
監 査 役		平 野 亘 也
監 査 役		林 田 洋 二

(令和元年6月20日現在)



■ 宮崎空港ビルの使命・役割

～楽しい旅のお手伝い～

当社は、空の玄関として、航空機を利用されるお客様を次の目的地へ、安全かつ迅速にお送りするとともに、快適な空間を提供し、あわせて航空業界の発展に寄与していくことを使命とする。さらに、地方空港として、宮崎の文化や観光、経済の情報を発信し、地域社会の発展に努めていく役割を担っている。

■ 経営理念

- ・ 当社の使命・役割を果たす為に、積極的な事業展開を行い、健全経営に努めます。
- ・ 地域の発展に積極的に取り組み、県民の皆様にも愛され、信頼される企業を目指します。
- ・ 「おもてなしこそが最大の観光資源」との想いを継承し、日本一のおもてなし空港を目指します。
- ・ 社員を大切にし、一人ひとりが夢を持てる、明るい企業を目指します。

■ 行動指針

～まだまだ、ニコニコ、一歩ずつ。～

私たちは、県民の皆様にも代わって、お客様をお迎えする立場であることを自覚し、いつも「お陰様で、ありがとうございます」という感謝の気持ちを、お客様に感じていただける接客に努めます。

- ・ 私たちは、安全安心のサービス提供のため、徹底した安全管理・衛生管理に努めます。
- ・ 私たちは、いつも明るい笑顔と感謝の心をもってお客様の心に残る一歩先のおもてなしに努めます。
- ・ 私たちは、お客様の声を最も重要視し、どんな小さなことでも全て報告します。
- ・ 私たちは、お取引をいただいている皆様に、常に感謝の気持ちをもって接します。
- ・ 私たちは、より高い目標を持ち、常に背伸びをして、自己能力の向上に挑戦します。
- ・ 私たちは、サービスのプロとして、社員同士がお互いに注意しあえる職場づくりを目指します。

宮崎空港ビル平成 30 年度の取り組み



1月25日(金)

国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰

平成31年1月25日(金)に国土交通省にて、「第12回 国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰」の授与式が行われました。

今回の受賞は、弊社が日本で初めてとなる小型機対応ロングPBB(旅客搭乗橋「ひなたらくちんブリッジ」)を、構想から6年の月日をかけて三菱重工交通機器エンジニアリング(株)と共同開発した事や、トイレ・授乳室など地域密着型のユニバーサルデザイン設備を積極的に推進してきた事が評価されました。



表彰授与式



授乳室



多目的トイレ



小型機対応ロングPBB
(ひなたらくちんブリッジ)

7月20日(金)

2階売店リニューアルオープン



「モーブークック」 宮崎県内の酒蔵を一堂に会した焼酎コーナー

コンセプトを「南国リゾート宮崎らしい、感動と楽しさあふれるショッピングフロア」として、2階売店がリニューアルオープン致しました。畜産王国宮崎のPRと販売拡大を目的とした、直営店舗のお肉専門店「モー(牛)ブー(豚)クック(鶏)」をオープンするとともに、経済連との連携においては、「宮崎牛」や「マンゴー」「きんかん」などの特産品の試食販売を大々的に実施しております。また、中山間地域の商品については、市町村と協力し、生産者の皆様と一緒に新たな商品を取り揃え、さらなる充実を図り、地域活性化に努めております。

宮崎空港駐車場2時間まで無料

普通自動車	30分まで	60分まで	90分まで	120分まで	以降1時間毎 150円	24時間毎の 最大	これまで、宮崎空港駐車場は空港支援機構（一般社団法人 空港振興・環境整備支援機構）のご協力で30分無料にいただいておりますが、当社では空港の売店・レストランを利用されたお客様には、更に90分の費用を当社で負担し、合計2時間までの無料化を平成30年7月20日(金)から開始し、同時に空港支援機構に空港駐車場を200台分、増設していただきました。
いままで		100円	200円	300円			
現在	0円	空港ビルでお買い物・飲食をすると 0円			450円～	800円	

12月21日(金)

テナント ANA FESTA リニューアル

平成30年12月21日(金)に、ANA FESTA 宮崎ロビー店がリニューアルオープン致しました。リニューアルのコンセプトは「南国リゾート宮崎」で、リゾートらしい海をイメージして、店舗サインを海の「青」、店内には砂浜をイメージ頂けるような配色にしました。



3月30日(土)

エレベーター増設

平成31年3月30日(土)、オアシス広場横エレベーターが供用開始となりました。

このエレベーターは、東京オリンピック・パラリンピックアクセシビリティガイドラインに沿った大きさと、各階の外観には宮崎県のシンボルキャラクターである「みやぎき犬」のデザインを取り入れ、車いすのお客様も今まで以上に快適に利用することができるなど、南国宮崎を感じていただけるエレベーターとなっております。

尚、既存のエレベーター(11人乗り)と今回増設したエレベーター(17人乗り)を合わせると、28名の方がご利用出来るようになりました。

既存エレベーターとの比較

	既存	増設
かご幅	132cm	180cm
かご奥行	170cm	150cm
人数	11人乗り	17人乗り

エレベーター増設に合わせて外観デザインもリニューアル



神話のふるさと



滑走路をイメージ



スポーツランド



日本のひなた

11月15日(木)

航空会社ラウンジ「大淀」リニューアル

平成30年11月15日(木)に航空会社ラウンジ「大淀」が「南国リゾート宮崎らしい、より利用しやすく、より快適なラウンジ大淀に」をコンセプトにリニューアルオープンいたしました。

席数を28席から61席に増やすとともに、リラックスゾーン、ビジネスゾーンを設け、バリアフリー化への取り組みとして車椅子専用ゾーンを設けております。



ラウンジ大淀外観



エントランス



ビジネスゾーン



リラックスゾーン

5月19日(土)

第20回ブーゲンビリアプレゼント抽選会



平成30年5月19日(土)に20回目の記念となりますブーゲンビリアプレゼント抽選会を開催いたしました。当日は、500鉢と節目である20回目の記念として、大きな鉢を20鉢プレゼントしました。また、初めての試みとして記念撮影スポットを設けました。会場には約1,000名のお客様にお集まりいただき、大変盛り上がりました。現在までに7,070鉢をプレゼントしており、おかげさまでブーゲンビリアの輪が広がっております。この企画は、平成11年より地域の皆様への感謝の気持ちとして、当社のグリーンキーパーが丁寧にガラスハウスで育てたブーゲンビリアをお配りしております。第1回目は50鉢からスタートした企画も今では、毎年500鉢となり宮崎空港の人気イベントとして定着しております。





目指せ2020年! 空港発 ブーゲンビリア植栽プロジェクト

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け発足した目指せ2020年! 空港発ブーゲンビリア植栽プロジェクトは、空港の愛称となったブーゲンビリアを広め、お客様を歓迎するとともに、宮崎県の全県公園化構想のもと「美しい宮崎づくり」の推進に努めております。平成30年度は木城町・都農町など8ヶ所に贈呈いたしました。

10月20日(土)



木城町
第34回木城ふるさとまつり

10月21日(日)



都農町
都農ワインハーベストフェスティバル2018
都農町産業まつり



10月26日(金)

「宮崎日日新聞賞産業賞」



長年にわたり地方空港としての使命と役割を踏まえた取り組みを推進してきた事が評価され、宮崎日日新聞賞産業賞を受賞しました。

12月3日(月)

「障がいのある人もない人も
共に暮らしやすい宮崎県づくり表彰」



小型機対応ロングPBB「ひなたらくちんブリッジ」などのバリアフリーの取り組みが評価され、宮崎県から「障がいのある人もない人も共に暮らしやすい宮崎県づくり表彰」を受賞しました。



横 21m × 縦 3m

「神の光 生命の国 愛と花」 ～宮崎と日本の神秘の美しさを世界へ～

令和元年5月15日(水)

神話のステンドグラス完成式典



令和元年5月15日(水)に当社のオアシス広場にて神話のステンドグラス完成式典が行われました。式典では、宮崎神宮様に神事を行っていただいた他、村上三絃様による記念演奏や高千穂町野方野 神楽保存会様による高千穂神楽の舞も行われました。式典には、影絵作家藤城清治先生、ステンドグラス工芸家白井定一先生をはじめ、神社関係者、行政、空港関係者など、約130名の方々にご参加いただきました。

ステンドグラス見学施設も設置



3階のギャラリーに、ステンドグラスを紹介する見学用のタッチパネルを設置し、子供から大人まで楽しめる施設となっております。また、子供向けの館内案内では、オペラグラスを貸し出し大きく見せる事で、より探検気分が味わえると大変喜んでいただいております。

令和元年5月18日(土)～30日(木)

神話のステンドグラス完成記念展 オアシス広場

会場には、藤城清治先生、白井定一先生の作品の展示及びグッズ販売の他、週末には、国民文化祭のPRステージや神楽舞が行われました。



宮崎スーゲンピリア空港



オリジナル商品のご紹介



空飛ぶ! 宮崎和牛カレー

国際線
ファーストクラス
日本発

国際線
ビジネスクラス
日本発



宮崎空港で誕生以来、50年間変わらぬ味。
平成29年6月から1年間 JAL 国際線の機内食に
採用されました。宮崎の美味しいカレーをどうぞ。

ガンジスカレー ●1食
【ガンジス・宮崎和牛・宮崎黒豚】各 550 円



ガンジス



宮崎和牛



宮崎黒豚



CURRY&SPAGHETTI

ガンジス

宮崎空港限定

アルコール度数三十三度。芋、麦、そば。

三種の本格焼酎

宮崎の本格焼酎は、材料が多様性に富んでおります。それぞれの特徴を活かした「甕貯蔵の芋」「長期熟成貯蔵の麦」「全量そば」による、三種の味わいをお楽しみください。

豊潤な甘みのそば

本格そば焼酎

全量そば



芳醇な香りとコクの麦

本格麦焼酎

長期熟成貯蔵



繊細な甘みの芋

本格芋焼酎

甕貯蔵



ひむか燦々 (さんさん)【芋・麦・そば】●720ml ●33度 各 3,300 円



空港シェフ特製
日向夏ドレッシング
●220ml 600 円
●瓶：220g 700 円



空港シェフ特製
金柑ドレッシング
●220ml 650 円

おんでもおまれな揚げ



- 春ウコン
- 沖繩皇金
- 紫ウコン
- 白ウコン



お酒の前に、小粒で飲みやすい、4種のウコン効果!



夢かぐらオリジナル
冷や汁
●1袋 432 円
●箱入：2袋 864 円
1袋はお茶碗2杯分です。



チキン南蛮
カレー
●1食 1,000 円

ニシタチレジェンド
●1袋 1,100 円 ●1包 200 円 (6包入)

※表示価格はすべて税込価格です。